

9 「地方創生回廊」の早期実現に向けたリニア中央新幹線や高速道路網の整備について

国が進める「地方創生回廊」構想は、リニア中央新幹線等の幹線鉄道ネットワークや高速道路網などの高速交通ネットワークを活用し、北から南まで地方と地方を結び、全国を一つの経済圏に統合することで、人や産業を地方に呼び込み、新たな雇用を創出する、地方創生の礎となるものである。

特に、地方創生回廊のハブとなる東京と、名古屋及び大阪の三大都市圏を新たなルートで結ぶリニア中央新幹線は、それぞれの地域の特色ある発展を支え、我が国全体に活力をもたらすことが期待されている。

こうしたリニア中央新幹線がもたらす効果を、地域の隅々まで行き渡らせるためには、現在、整備が進められている高速道路網などとの高速交通ネットワークの形成や、それにつながるリニア関連交通インフラの整備、リニア駅周辺における広域交流拠点の形成が重要である。

については、次の事項について特段の措置を講じられたい。

- 1 「地方創生回廊」構想の一翼を担う中部横断自動車道など、高速道路網の整備を促進すること。
- 2 リニア中央新幹線の開業効果を見据え、リニア駅と各地域を結ぶ円滑な移動を確保するため、沿線自治体が行うリニア関連の道路整備等に対し、補助制度の創設なども含めて、十分な予算措置、地方負担に対する適切な財政支援を講ずること。
- 3 リニア駅の周辺に必要な広域交流拠点としての施設整備は、主として地方が行うことになり、地方に大きな財政負担が生じるた

め、十分な予算措置、地方負担に対する適切な財政支援を講ずること。